

# インタビュー “私の身体は私のもの”。それがリプロ・ヘルス/ライツの考え方です。

リプロ・ヘルス/ライツの考え方は、1960～70年代、欧米で始まった女性解放運動から生まれました。当時、キリスト教圏の国では、人工妊娠中絶が厳しく規制・禁止され、安全な避妊手段をもたない女性たちは闇中絶による悲惨な状況に苦しんでいました。そこで、避妊や中絶の自由を求める運動が高まるなかで、“私の身体は私のもの”として、自分の身体に起こっている出来事は、ほかの何ものにも

## 性と生殖に関する課題を幅広く含む

リプロ・ヘルス/ライツの「ヘルス(健康)」とは、身体的・精神的・社会的に“その人にとって最善の状態”にあること。「ライツ(権利)」とは、自己決定権、“私の身体のことには私が決める”という権利です。ここには、性に関する課題(配偶者やパートナーとの関係、身体・心・年齢の変化に応じた性生活のあり方など)も、生殖に関する課題(産むこと・産まないこと、産めない状況、家族計画、生殖技術、産科・婦人科疾患など)も幅広く含まれています。

具体的には、たとえば、男女とも自らが選んだ安全で効果的な家

族計画を実行できること。子どもを産むか産まないか、いつ産むか、何人産むかを決める自由をもつこと。思春期の若者が性行為による感染症や子宮頸がんを発症しないための知識を身につけること。強制や暴力・差別のない性生活を保持することなどが挙げられます。

こうした運動の流れを受け、平成6年(1994年)の国連の国際人口・開発会議(カイロ会議)で、“人間が生まれてから死に至るまでの一生涯の、身体と心に関わる「健康問題」と「権利の問題」のすべてを指す広く重要な概念”として、リプロ・ヘルス/ライツが国際的に位置づけられました。

## 女性に対する暴力の根絶のために

みなさんに意識していただきたいのが、リプロ・ヘルス/ライツの尊重は、女性に対する暴力の根絶と密接に関わっているということ。私的な場で発生するDV、デートDV、虐待、ストーカー行為や、一般社会で発生する強かん、わいせつ行為、セクハラ、ポルノ、売買春、薬物乱用、そして、国家による暴力。こうしたあらゆる暴力は、性と生殖の安全を脅かし、権利を侵害し、長期的な健康被害をもたらす行為です。リプロ・ヘルス/ライツを大切に、周りの人たちとともに

に考えていきましょう。それが、この社会から暴力をなくす道につながります。

中山まき子さん

同志社女子大学  
現代社会学部  
現代子ども学科 教授



## ココロとカラダの健康に関する相談窓口 ※いずれの窓口も年末年始は休み

### <保健・医療相談>

◆もしもし健康相談(茨木市保健医療センター)  
※保健師が相談に応じます。  
TEL/072-625-6685  
月曜/9:30~11:30(祝日は除く)

### <茨木市立男女共生センター ローズWAM電話相談>

◆女性電話相談  
TEL/072-621-0892  
月~土曜/10:00~16:00(火曜・祝日は除く)

◆男性のための電話相談  
TEL/072-620-9920  
第3水曜/18:30~21:30(祝日は除く)

### <思いがけない妊娠に悩んだら>

◆にんしんSOS  
TEL/0725-51-7778  
月~金曜/10:00~16:00(祝日は除く)  
PCサイト/ <http://www.ninshinsos.com/>

### <女性のからだに関する相談>

◆女・からだ110番(ウィメンズセンター大阪)  
TEL/06-6632-7012  
木曜/13:00~20:00(第5木曜・祝日は除く)  
第3土曜/10:00~13:00(祝日は除く)

◆不妊にまつわる電話相談(不妊専門相談センター)  
TEL/06-6910-8655  
水曜/10:00~16:00(第5水曜・祝日は除く)  
第4土曜/13:00~16:00(4月・8月・12月は除く)

◆妊産婦の健康に関する相談(茨木市子ども健康センター)  
※保健師が相談に応じます。  
TEL/072-621-5901  
月~金曜/8:45~17:15(祝日は除く)